DreamArts

2026 年 10 月 20 日

報道関係各位

プレスリリース

株式会社ドリーム・アーツ

KONICA MINOLTA × SmartDB

SmartDB、コニカミノルタ ヘルスケア事業のアフターサービス業務に採用

～修理情報管理システムを刷新し、グループ横断のデータ連携と将来の AI 活用を目指す～

大企業向けクラウドサービスの株式会社ドリーム・アーツ（東京本社：東京都渋谷区、広島本社：広島県広島市、代表取締役社長：山本 孝昭、以下 ドリーム・アーツ）は、コニカミノルタ株式会社（本社：東京都千代田区、代表執行役社長 兼 CEO：大幸 利充、以下 コニカミノルタ）が、ヘルスケア事業におけるアフターサービス業務の効率化に向け、大企業向け業務デジタル化クラウド「**SmartDB®**（スマートデービー）」を採用し、2027 年からの実運用を見据えて、修理情報管理システム刷新に向けた開発を開始したことをお知らせします。

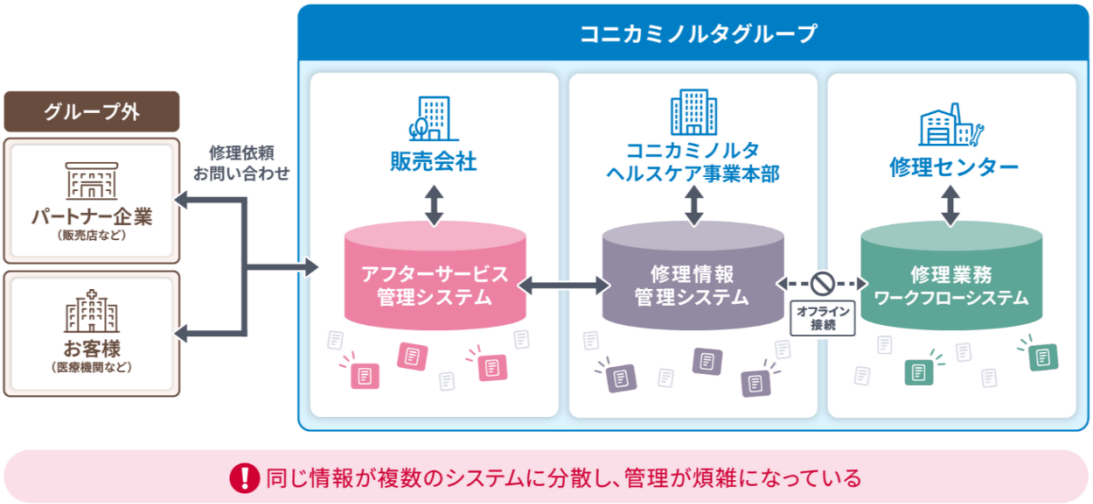
（左から、ヘルスケア事業本部 事業統括部 事業管理部 業務改革グループ アシスタントマネジャー 吉葉 充弘 氏、ヘルスケア事業本部 事業統括部 事業管理部 業務改革グループ 宮下 隼人 氏）

■SmartDB 導入の背景：アフターサービス向上へ、修理情報管理システムを刷新

コニカミノルタは、ヘルスケア事業においてデジタル X 線画像診断システム、超音波診断装置、医療情報システムをはじめとするさまざまな製品を展開しています。

同事業では、アフターサービスの業務改善やサービス品質向上を目指し、業務プロセスの見直しやデータ利活用のあり方を検討してきました。 一方、アフターサービスに関する情報が複数のグループ会社・部門・システムに分散し、業務の全体把握やデータに基づく迅速な改善が課題となっていました。 なかでも修理業務は、医療機関やパートナー企業からの修理依頼を起点に、グループ内の販売会社、修理センター、コニカミノルタが連携して対応しています。 この業務を支える修理情報管理システムは、長年の運用のなかで環境変化に応じた柔軟な改修や他のワークフローシステムとの連携が難しくなるなど、業務効率の面で課題を抱えていたことに加え、システム管理の属人化も進んでいました。 そこでコニカミノルタは、修理情報管理システムの刷新を機に、修理の業務プロセスそのものの見直しを決定。 データベースとワークフローを一元管理し、業務プロセスとデータを集約できる新たな基盤として、**SmartDB®**を採用しました。

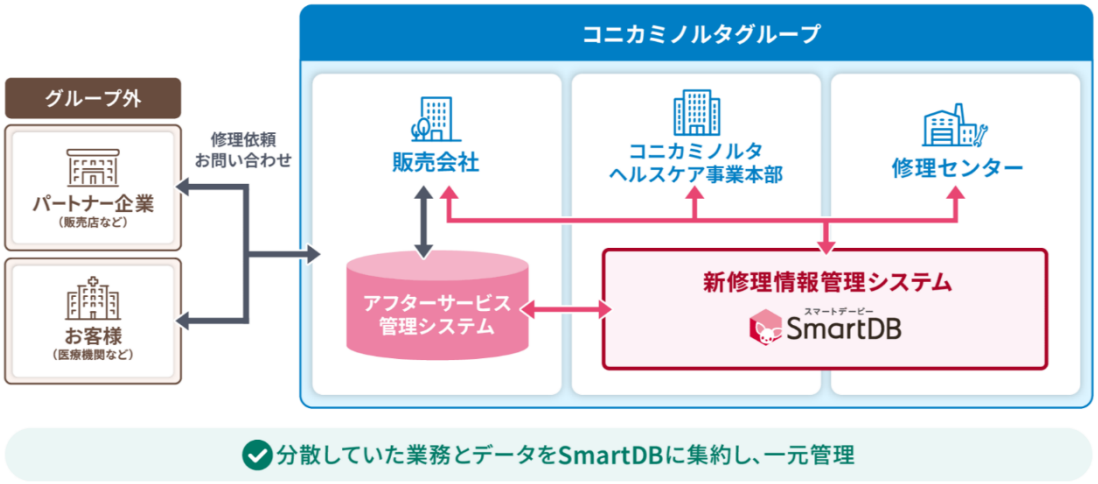
【イメージ図：コニカミノルタにおけるセンドバック修理業務の現状】



■SmartDB で目指すこと：データ活用を見据えたアフターサービス業務基盤へ

修理に関する情報とワークフローを **SmartDB®**上で一元管理し、グループ会社を横断して共通の情報を参照しながら業務を進められる環境を構築します。 これにより、情報の入力や個別の進捗確認にかかる手間を削減します。 将来的には、**SmartDB®**上に蓄積されるデータを AI で分析し、製品の故障傾向把握や故障予測、サービス改善、製品開発・改良、品質向上に活用することを目指しています。

【イメージ図：SmartDB で修理に関する情報やプロセスを一元管理】



■SmartDB の選定理由：複雑な業務への対応力と将来のデータ・AI 活用を評価

SmartDB®が評価された主なポイントは以下の通りです。

- **複雑な業務プロセスに対応するワークフロー機能**
  複数のグループ会社が関わる業務や、条件によって分岐する複雑なプロセスに柔軟に対応。
- **大容量の情報を一元管理できるデータベース機能**
  修理のみならず、将来的にアフターサービス全般や関連する情報を集約できるデータ基盤。
- **AI Ready データ基盤としての将来性**
  業務を通じて蓄積されるデータを構造化して管理し、AI 活用やデータ分析につなげられる。
- **既存システムとの API 連携機能**
  グループ各社が利用する複数の既存システムと柔軟に連携。

■コニカミノルタ株式会社 ヘルスケア事業本部 事業統括部 事業管理部 業務改革グループ アシスタントマネジャー 吉葉 充弘 氏からのコメント

SmartDB®の導入を、単なる既存システムの置き換えではなく、アフターサービス全体の業務改善につなげていく計画です。 今後は販売や品質保証などさまざまな部門へ活用を広げ、グループ会社・部門横断で活用できる環境を目指します。 さらに、海外の販売会社や代理店なども含め、

国内外の修理状況やアフターサービスに関する情報を一元的に把握できる仕組みへ発展させていきます。 将来的には、蓄積されたデータを AI で分析が可能な「AI Ready」な状態に整備し、サービスメニューの改善や製品・サービスの品質向上への活用を期待しています。

ドリーム・アーツは、今後も“協創”を理念に掲げ、「現場力強化」「企業競争力向上」に役立つトータルソリューションを提供してまいります。

SmartDB®（スマートデービー）について　https://hibiki.dreamarts.co.jp/smartdb/

SmartDB®は、大企業市場シェア No.1 (※1) の業務デジタル化クラウドです。 現場個別の業務から全社横断業務までノーコードで開発可能。 ワークフローと Web データベースを中心に多彩な機能をもち、柔軟な外部システム連携、きめ細かな権限管理、高度なセキュリティ要件にも対応しています。 三菱 UFJ 銀行や KDDI、ツルハホールディングス、筑波大学など、大企業を中心にあらゆる業種業態のユーザーが利用中です。 サービス基盤としてマイクロソフトが提供するクラウドプラットフォーム「Microsoft Azure」を採用し、利用規模の変化やコンテンツの増加にも柔軟に対応できる環境を実現しています。

※1 テクノ・システム・リサーチ「2025 年 SaaS 型ワークフロー市場メーカーシェア調査」より（2026 年 4 月時点）

株式会社ドリーム・アーツについて　https://www.dreamarts.co.jp/

「協創する喜びにあふれる人と組織と社会の発展に貢献する」をコーポレート・ミッションに掲げるドリーム・アーツは、「協創」を自ら体現することで、顧客の真のソリューションパートナーとして総合的な課題解決をお手伝いしています。

主なサービスとして、大企業向け業務デジタル化クラウド「**SmartDB®**」、多店舗オペレーション改革を支援する「**Shop らん®**（ショップラン）」、大企業の働き方を変えるビジネスコックピット「**InsuiteX®**（インスイートエックス）」などのクラウドサービスを開発・提供しています。

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社ドリーム・アーツ　広報担当　金井、岡

〒150-6029 東京都渋谷区恵比寿 4-20-3　恵比寿ガーデンプレイスタワー29F

TEL：03-5475-2501 / 090-9149-3958　E-mail：pr@dreamarts.co.jp

記載されている会社名および商品・サービス名は各社の登録商標または商標です。

©DreamArts Corporation.